

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(2月10日～2月16日)

2017年2月20日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●トルコのユルドゥルム首相の来訪(2月14日, 15日)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

●トルコのユルドゥルム首相との会談

2月15日, ルカシェンコ大統領は, トルコのユルドゥルム首相と会談した。同大統領は, 両国の主要な政府諸機関は緊密で実りの多い協力関係を築いてきており, 両国の貿易高も10億米ドルに近づいてきたとして, こうした基盤を両国のあらゆる分野の関係強化のために利用していきたい旨述べた。これに対しユルドゥルム首相は, トルコからの訪問団の受けている温かいもてなしを感じていることに対して謝意を表明し, 昨14日に行なったコビャコフ首相と首相会談につき, 経済, 貿易, 運輸, 文化の分野での協力の強化を含む両国間の重要な諸問題を協議したと述べた。

(2月15日付大統領サイト)

●2閣僚の罷免

2月15日, ルカシェンコ大統領は, 管轄下の組織において汚職及び経済法違反の対策に関する有効な手段が実施されていないことを理由として, アメリカノヴィチ林業大臣及びシャムコ・スポーツ・観光大臣を罷免した。コチャノヴァ大統領府長官は, 「本件に関連して大統領は, 全ての組織の長に対して, 汚職対策法の規定の遵守と同分野での法律違反の禁止に関し, (組織の長)個人の(監督)責任が強められたことにつき改めて強調した。管轄下の組織でこうした事例が発生する場合, 上位機関の長に対しては, 罷免を含む最も厳格な, ただし公正な措置が講じられる」と述べた。

2月16日, 同大統領は, 出張先のスルツク地区において, スポーツ・観光大臣はスポーツ宮殿における販売許可をめぐる汚職, 林業大臣は良質の

木材が文書上で規格外とされて違法に輸出されていた事案により, それぞれ罷免されることになったと説明した。

同日, 国家治安委員会(KGB)は, 本件に関連して林業省の12名の官僚と2名のビジネスマンを拘束したと発表した。

(2月15, 16日付大統領サイト, ペラパン通信)

●ミンスク州スルツク地区視察

2月16日, ルカシェンコ大統領は, ミンスク州南部のスルツク地区を視察した。同大統領は食品産業コンツェルンのザベツロ総裁とともに, 2019年にフル稼働する予定の同地区の近代的な酵母工場を視察した。同大統領は, 現在中国に対して食肉及び乳製品を輸出しているが, 今後はこれに砂糖の輸出も加える予定であると述べた。さらに同大統領は, 同地区への課題として, 教育及び保健の分野を改善するように指示を出した。また, 1日2～3時間ではなく, 8時間の勤務体制を整える必要性や, 教員の給与を倍増させる必要性について言及した。

(2月16日付大統領サイト)

【内政】

●統一市民党(野党)党首の逮捕

2月9日, 統一市民党は, 自らのSNSのページ上で, 同党の地方議会議員立候補者の選挙運動を支援するためにブレストに行き, バッテリー製造工場建設反対の署名活動を行っていた同党レベチコ党首が, ミンスクへ戻る道中で治安当局に拘束されたと発表した。

2月12日, ブレスト州内務局は, レベチコ党首の拘束につき公式に発表した。同発表によると, 同

党首は交通警察による運転免許証その他の提示要求を無視したとされている。

(2月9、12日付ベラパン通信)

【外政】

●米国家情報長官によるベラルーシ・露関係への言及

2月13日、コーツ米国家情報長官によるロシアに関する報告が公表された。同報告では、クレムリンは旧ソ連諸国に対する自らの影響力の維持に努めており、可能な部分ではその拡大も考えているという同長官の見解が述べられている。同報告によれば、ルカシェンコ大統領は安全保障分野でロシアとの緊密な関係を継続していき、その際に同大統領は「ロシアからの影響力を試すために、西欧との関係正常化を目指していくことになるだろう」とされている。

(2月14日付ベラパン通信)

●ラフマーノフ上院議員の日本訪問

2月初旬、共和国院(上院)国際関係・国家安全保障常任委員会ラフマーノフ委員長(前駐日大使)は日本を訪問し、国会議員やビジネスマンと面談した。日本・ベラルーシ友好議員連盟の渡辺会長との会談では、二国間協力及び議会間の連携につき協議された。自民党の森まさこ参議院議員との会談では、福島第一原発事故によって被災した地域の復興のためにベラルーシの技術を活用する可能性につき話し合われた。同委員長は日本バイアスロン連盟の伊部会長と会談し、スポーツ分野での両国の協力につき協議した。さらに三菱重工業幹部やアジア太平洋経済環境研究会の川阪会長との面談も実施された。

(2月14日付共和国院サイト)

【治安・軍事】

●国家安全保障会議の開催

2月13日、ルカシェンコ大統領は国家安全保障会議を召集し、概要以下を述べた。

・対外的な脅威は、①複数の国が核兵器という

テーマを悪用していること、②東欧地域における軍事化、③近隣諸国における兵力及び軍事支出の増加の3点。

・政府は、軍が必要としていて入手可能な装備品に対し、適時適切に調達資金を割り振ること。国防大臣は軍の装備品をあるべき状態に保つこと。

・集団安全保障条約機構(CSTO)域内共同防衛に関し、主な責任を負うのはロシアであるが、現在ロシア指導部には、CSTO域内共同防衛という最も緊迫したテーマにおいて、ベラルーシ、カザフスタン、アルメニアその他の加盟各国の軍を強化しなければならないとの理解がない。ベラルーシはロシアとともに現在最も緊迫している西部方面の前線基地である。したがって、ロシアの大統領選挙後に本件につき考えた上で解決する必要がある。

・ロシアとの戦略的パートナーシップには特に意義がある。様々な憶測や報道があったが、ロシアとの共同軍事演習「ザーパド 2017」は滞りなく行われた。現在ベラルーシ・ロシア両国間で、国境・通関・査証等の障壁を撤廃するための作業が行われている。

(2月13日付大統領サイト)

【経済】

【対外経済】

●トルコとの首相会談

2月14日、ベラルーシ訪問中のトルコのユルドゥルム首相との両国首相会談が行われた。

・コビャコフ首相はトルコに対し、①新たな輸送ルートの開発によるロジスティクスの整備、②ベラルーシ国内でのトルコ資本の銀行の設立、③ベラルーシ国内の経済特区内でのトルコからの投資専用地区の設定を提案。

・また同首相は、2017年には10億ドル近くなった貿易高を15億ドルに引き上げるために取り組むとともに、貿易収支均衡の重要性を指摘。

・また同首相は、「ゴメリ農機(ゴムセリマシ)」、建機メーカー「アムコドル」製の車両をトルコで組み立て、中東地域諸国市場への販売に向け

て両国共同で取り組みが進められていることを踏まえ、「ミンスクトラクター工場(MTZ)」のトルコでの生産開始に向けたパートナー企業を探している旨述べた。

・トルコのユルドゥルム首相は会談後の記者会見において、トルコ・ベラルーシ両国が共同で投資して中東・アフリカ市場へ進出するというベラルーシのイニシアティブへの支持を表明するとともに、ベラルーシ国内の経済特区においてトルコ企業が競争力のある分野に取り組むことが出来るよう支援する旨述べた。

・投資の実施と保護に関する政府間協定や貨物の国際複合輸送に関する政府間協定等の 7 本の文書が署名された。

(2 月 14 日付閣僚会議サイト, 国営ベルタ通信)

●ベラルーシ・トルコ・ビジネスフォーラムの開催

2 月 15 日, 両国首相列席の下, ベラルーシ・トルコ・ビジネスフォーラムが開催され, トルコ企業 70 社, ベラルーシ企業 140 社を含む約 300 人が出席した。ベラルーシ商工会議所ウラホヴィチ会頭は, 機械製造業でトルコとは伝統的に協力関係にあるとした上で, 新たな協力分野として, 物流や科学技術の他, 中小企業同士の協力といった分野を開拓できる旨述べた。

(2 月 15 日付国営ベルタ通信)

【統計・その他】

●ベラルーシの GDP に占める闇経済の割合についての研究

国際通貨基金(IMF)によれば, 1991 年～2015 年にかけてのベラルーシにおける闇経済の割合は, 平均で国内総生産(GDP)の 44.52%であり, 2015 年は GDP 比 32.4%であった。同報告は, IMF アフリカ局メディナ専門家と独ケプラー大学シュナイダー専門家両名が, 世界 158 か国における闇経済の規模につき調査したもの。同報告によれば, 同期間のロシアの闇経済は GDP 比 33.7%, ウクライナでは GDP 比 44.8%であった。

(2 月 10 日付 IMF サイト, ベラパン通信)

●2017 年の貿易額: 前年比 24%増

2017 年の貿易額は 634 億 4,620 万ドルで前年比 24%増。そのうち輸出は 292 億 1,180 万ドル(前年比 24.1%増), 輸入は 342 億 3,440 万ドル(前年比 24%増)。

(2 月 12 日付国家統計委員会サイト)

●2017 年の外国からの直接投資額は 12.5 億ドル

国家統計委員会によれば, 2017 年の外国からの直接投資額は 12 億 4,700 万ドルで, 前年比 ▲4.6%。国有株の売却に伴う外国からの投資は 2016 年, 2017 年ともに実績なし。主な出資元はロシア連邦(投資全体の 38%), 英国(26%), キプロス(7.2%)。

(2 月 13 日付国家統計委員会サイト, 14 日付ベラパン通信, プライムタス通信。)

●不採算企業の割合が減少

2017 年における不採算企業の数, 2016 年の 1,413 社から 1,127 社に減少。企業全体に占める不採算企業の割合も 19.2%から 15.3%に減少。

(2 月 14 日付国家統計委員会サイト)

●IT 輸出が 10 億ドルを突破

2017 年のハイテクパーク(IT 特区)入居企業による輸出額は総額 10 億 2,500 万ドルで前年比 25%増。同特区全体での生産高は 21 億 5,300 万ルーブル(約 11 億ドル)で前年比 20%増。

(2 月 15 日付ハイテクパークサイト)

(了)